### 明るい郷土

## 住みょい高



### 分 2 7 号

毎月 回5日発行

発 行 高 萩 市 役 所 編 課 隼 總 務 印刷 枝印刷所 藤

**談案**才七九号 報告について 報告才九号専決処分事 議案第七八号 付議案 3、予算外義務負擔につ 2、高萩市都市計画 市才出更生予算 一部改正について弁償等に関する条例の議員の報酬及び事 いて 変更につい 0 部改正について 昭和三十二 高萩市職員 高萩市 国有 7 年 度 地借 高萩 議会 X 項 坳

₩大 本部委馴委 澤 経済委員 要員長 要 員長 重員長 七重

川下鈴垪根鈴 松田木和本木

光学広武賢好 東秀 **意郎 次** 雄 夫 之 治吉

渡吉

辺田

委副委員 生 員長長 委 員

大小矢三中大舟会 渡鈴樫柳穂木鈴 久松代 保松代代島田生 辺木村沢積<sub>内</sub>木 正光 藤之良政 知 清治史進豊之郎 伝維男助次幹維 り原案可決承認された。

める件等その他十一議案について慎重審議の結選、選挙管理委員の選挙及び監査委員選任の同

選挙及び監査委員選任の同 挙を中心として市 の一年交替の

して市議会常任委員での申合せによる任期で

一挙管理委員の

٤

了に件ら正副議長選

(2) 議案オハ六号 寄り、 (3) 議案オハ六号 寄り、 毎度高萩市才入才出追 加更正予算 16) 過会 か 本 委員長 題委員長

条とされ今日までれた手腕力界代議長吉田秀吉氏で「平和」と「協議長吉田秀吉氏の大学院力界を持ちます。 新 議 長

村 議

所終たこるいれ絶事であるが様を私へと を表しています。 を表しているのである。 を表しています。 を表しています。 ののでは、 のののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 のののが、 のののでは、 ののでは、 ののでは、

協管る籍公私変を申解来ててく窓はるる能力すがを平のり知をた是来なが派のの知をた是来なか派ののの知をたるを記したるない。 でるるもな期間あなけらりました。 今本のでは、 といいでは、 といいでは、 といいでは、 といいでは、 といいでは、 といいでは、 といるで、 はいいでは、 のあかけけれるしると、 のあかけけれるして、 のからかけば、 でにはて、 でにではて、 でにではて、 のののは、 にか誤でいでにではて、 の側運あ党も にか誤でし、 後に、 はい誤でし、 後に、 はい誤でして、 の側運あ党も

議會だより

才

几

市

会

定

例

分から高萩市役所で行つた対四回市議会定例会は、 矢代光史氏、 議 長 に樫村之男氏、 た。十 選舉管 各常 理 一委員等 午前九時四 任 委 副 決 員 議 監 る。 長 +

杳 VC

二月

四日

選

氏

監查 举 委 管理大 委 員 委員 昌 (競 元一小会岩上豊佐矢 ○、松選本田田 **藤代** E 啓助武 良 九 生治 治重門正三

大字中戸川 大字上手綱 大字安良 明治四 四 、茂 四伊 五、又 藤 英平 部 九 生薫 生男 生薫

同 大字横川 大字下補 大 字 秋明 明 明治三四、五宮 手獨員 山治四四 七阿 五農 五田 四田 七津 武 五清 カ 7 生雄 生明 生静

納税昂揚運動の一環として小中學校兒 童生徒から募集した優秀作品

でできない。 を確立された結果名実共に平和 をはいてあるものまでは、 をしいれと当ますである。 をでもないのでもなりである。 をでもないのでもなりである。 のでもないのでもなりである。 のでもないのでもなりである。 のでもないのでもなりである。 のでもないのでもなりである。 のでもないのでもない。 でなからでは、 のでもない。 ではないでもない。 のでもない。 のではは、 のではは、 のではは、 のでは、 のでも、 のでも、

(作文、清書等逐次掲載の予定)

絶することは絶対出来得な

いことは御承知の通りであ

性を認識し全市民一体とな

成人大学講

座

受講報

よく観察しますと親達の勝

平和と人

口と教育の問

防団のみをもつて火災を根 努めております、しかし消 め消防団に於ては種々訓練 ることが最も大切で之が為 火災を最少限度に喰い止め 消防精神を遺憾なく発揮し 発生に際しては敢然起つて の防圧の為に先づ火災の予

し平素に於て心身の錬麿に

間としての背骨がない、愛 善悪判断の基準がない、人

が一般に言われています 『心がない、という様なこ

主教育を受ける必要がある

れるのです。

ある私達こそ、本格的な民 押つける前に、古い人間で えると、修身教育を子供に います。この様なことを考

がない、親に孝行しない、

省してみる必要があると思

ら、親の言うことをきかな

い、礼儀を知らない、希望

す。最近の子供は理窟をい 的になつたと言われていま

会の矛盾を発見して反社会 は一般に批判的になり、社 を捨てて社会科中心の教育

になりましたので、子供達

本は終戦後、修身教育 道徳教育の問題

## 出 7 出 「さない工夫 消すより

大火が続発し 語に絶してお その惨禍は言

この恐るべき火災 最も重要であります。

りまして一般市民と一体の

民の不注意から発生していら見ても原因の大部分は市 ますので市民の一人々々が あるべきです、火災統計か 消防でなく先づ予防消防で 昨今の消防は発火に対する 防災態勢を確立することが

市民各自がよく消防の重大 得るものではありません、 係者のみが声を大にして叫 が出来るので、独り消防関 るならば必ず根絶すること 火気に注意し予防に気を配 んでも到底その目的を達し

がオーであり次いで火災

伝統と誇りとを遺憾なく発 斯くして吾が高萩市消防の 住みよい郷土建設に

めて予防消防の完璧を期しつて火災予防の実を挙げ始 得らる」と確信します。

火災期に対処すべく万端の五十消防人が一致協力して邁進すべく三万市民と四百 準備と御健闘をお願します

てでこ市を開催するので参加希望者を募集している。十五、十六の両日、研修会館前通りに、数十店参加し市商工会では市の協力を得て、昨年同様、来る十二月 会も計画している。 尚、近隣の酒造家の協力で、でこ市入口に於いて試飲 0 市

## 歲末 福 引 大売出

 $\bigcirc$ 

とうとうとうとうとうとうとうとうとうとうとう 二日から 商工会、商店街連合会共催により、来る十二月二十 四日間、 市内商店多数加盟して開催される。 The property of the party of th

市

しかしです。――明治、大一部の大人達が言らのです される親であろうか、と反 るか、市をよくしようと努 今の世において、市民とし てきた私達は、民主主義の 正の時代に修身教育を受け 力しているか、子供に尊敬 によらず責任をはたしてい て善良な人であるか、何事 題 (3) 5 強い反抗を示すようです。 達の振舞にたいして、一番 格を無視した責任のない親 手気儘な生活や、子供の人

に注目を要する問題だと思からんできますので、非常 たいする義務をはたす場合 る愛国心については前に申 の います。だから私達は、心 を護るかという様なことと において、誰が身を捨て国 できないと痛感するのです ないと「よい子」の育成は はばむ者は親達ではなかろ だから私達は、道德教育を また最近問題にされてい 述べた国連の集団防衛に かと常に反省してかから 平和な愛国心を持ち続

(筆者は市商工会役員神

い様です。だから愛の本質う言葉をよく理解していな 日本人の多くは「愛」とい 考えます。しかしながら、 に終始すべきであると私は 考えます。 は、大人達の「愛の実践 て建設的に行動すべきだと 大人も子供も手をとりあつ これを要するに道徳教育

少しでも御参考になれば幸終りますが、将来のために けです。読んでみる必要が生じるわ どらしても新約聖書を一度 的なものを求める場合には 以上をもつて私の報告を

## ~自衛官募集

◎只今2等陸・海・空土の志 願票を受付中です。

○受付メ切日 昭和33年1月11日

18才~25才未満 (昭8,3,2,生~昭15,3,1,生の者)

驗 33年1月18日~同月末 隊

33年3月末日から 遇

初任給 6,150円及び衣食 支給

志願票は市役所総務課にあり ます。その他詳しいことは市 役所總務課へ問合せ下さい

を利用する老若男女のハイ カー達によつて賑わい、 この自然公園は、秋の深さ 三年来整備、宣伝して来た い狩に、夏の林間キヤンプ春の新緑、わらび、ぜんま と共に、溪流を掩り紅葉の として、市及観光協会で両 に、秋の紅葉に処女観光地 万人を数えるに至り、 大半は土嶽まで足を延

又既に宣伝されている大北 対する施設についても企画しているので、この地域に 附近の観光客も、 溪谷の上部当市地内横川 年々増 加滝

している。 観光土産品の発賣方を要望 ると共に、商工業者に対し の期待に添り施設を計画す を始め、来春からの観光客 の地に対し、登山道の新設 市では一躍有名になつたこ をしいた。

遊ぶ放牧馬にカメラの砲列 て、眺望大観に感声を発し

# 有名になつた處女觀光地 花貫溪谷から土 キレイな芝生の円頂に立つ h

るよう御願い申上げます。 促進運動を行つております何とぞ御協力全員完納下さ 定資産税都市計画税のオ三期分の納税の時期が参りま 成績を收めておりますことは誠に感謝にたえません固 した(十二月二十五日まで)市では目下歳末納税完納 納税につきましては常に格別の御協力をいただきよい 脱を完納して輝かしい新年をお迎えしましよう。 都市計画 稅稅 第二 期 分の納 税について

もつて改めるべきは改むべ かに疑問をもつて大勇気を 共は現在の生活様式のどこ 現代に合いっこがない。私 れていると人工衛星のとぶ

2、こんな例

人が着てる着物をみて私も

3、あたりばったり

仂く必要がないのです。

どなく凡て外国のものばか 品をみると地元製品は殆ん ようです、一日三時間以上 に人間は横着にできている 恵豊かな処です、それだけ ン、マンゴーー等兎に角天

## 卅: コロンボ會議 平 和

います、羽田空港まで

同行した北海道の議長はそ

羽田到着闘朝しました。

木

[5] H

りです、 しましようか。 発展性がないと申

らけたり、大きな葬儀をや でつまんでたべています清 きてるうちの厚情がほしい つたりして貰うよりも、生 ね。私も死んでから花輪を ん、之は大変よいことです い形をとる様子もありませ 之をらける父母は答礼らし 礼を行う習慣がありますが に父母や目上の者に合掌の 潔な手です、それから朝夕 米食主義だがお偉方でも手

帰りはコロンボを出発し ポールに一泊し、サイゴン 飛行場に一寸着陸しシンガ に礼拜するのだそうです。 に入つた故事からそのよう 満月の夜に菩提樹の下でさ す、釈尊は満月の夜に生れ 満月の夜に法要的な拜み祭 の代りお釈迦様だけは毎月 (英国機)クワラルンブの とりを開き満月の夜に涅槃 りを欠かさず盛にやる由で 七日忌も百ヶ日もない、そ ります、位碑もおかないし の灰を屋敷に撒くだけであ ません大体が火葬にしてそ 位有り難かつたかしりませ 送つて戴くあの友情がどの ん。そしてお墓は一切あり

です、ゴム林もありバナナ なんてありません不要なの 賄つてるそうです、所得税政府はお茶の輸出税だけで

アップルも沢山あるし山い

大して大きくなくパイン 木に実る落花生、ザボ

香港(一泊)沖繩等に着陸

支配すべき沖繩をかくの如実に気の器でした、日本の とを許されない事情にあり 見えていてもそこへ参るこ すが米軍の紀律上忠霊塔が 会
ら
気持
一ばい
で
来
た
の
で で、今度の旅に沖縄で忰に の枠を沖縄で戦死させたの

何ともいい様のない国民感 く不自由な姿におくことは

語教育で、読み書く英語よ 結論を申上げますと日 して教えてほしいと思いま りも、話せる英語を何とか い致したいことは学校の言 本の

び教育に携はる方々にお願 員の方や市の執行部の方及

情にかられました。教育委 ます。

ます。 昔と蓮つて世界は

行機ならコロンボまで飛べ るだけの時間を要すれば飛 路まで汽車に乗つて到着す 児島へ北ならば北海道の釧ました高萩から南ならば鹿

者をつくり上げたいと存じ それには英語を話せる指 思います。 に立つよら努力すべきだと 発にしても總て指導的立場 ても文化にしても、産業開 面の援助は勿論、外交にし ると申しては変ですが接術 であります。即ち手なづけ それだけの実力を持つこと 指導者といたしたい、然も にあるものと深く思料され 将来は東南アジャに於ける 発展の基礎はこの点 縮少され

です而して諸国の現状を認いてす而して諸国の現状を認いは、 ます。 じます、百聞一見にしかず を是非御視察願いたいと存 皆さんもアジア諸国の状 る時代になつております。

## 四四四四番という電話番号 生活のどこがわるい 歲 末

反 省 

からと言つて何の計画にも買おうとか投げ売りで安い

基くことなしに出費してな

の頭では一般市民としてはが打上がることを戦争直後村に原子炉ができ人工衛星

いら言葉であつた。東海

早く変ることを半ばひやか誰も考へなかつたと思う。

せたらきつと驚くだろう。 を故郷とする浦島さんにみ ン伸びるに違いない、高萩 して各種面の充実はゲング の心意気でいくと市全域と

してみてた目からは正に驚

いかどうか。太陽を相手に

常陸太田市佐竹女青では

切である。 構えの上で生活上の疑問を改善をとり上げなくとも心 を実行しているそうです。率の高い衣類をつけること の持ち数などを調査し現在し各家庭の生活時間、衣料 改善を唱えてもさつばり進落の因習にわざわいされて 捕え一つくくコツコツと解 々お金のか」ることのみの 台所かまど採光料理講習等 ろうと批判検討研究をつく められないのでなぜなのだ では衛生作業の両面から能 もうだつが上らない。それ 性がないといつまでたつて り。金の出し入れにも計画 つべきである。部落によつ 様年間月間の生活計画を持 掛け月掛け貯金を実行した ては家計簿をつかつたり日 つたらどうなるか。之と同 する年間の農事計画がなか

か井戸の方角がわるいとか や西にむけてはいけないと つた。かまどのたき口を北 ようといつてこの話は納ま がきてそれはヨショシでし 重なつてとこぼしたら青年 を引きあてた人が死が四つ

ない等未だに迷信に引張ら

からとか友引に葬式を出さ 何作物はつくれない家令だ

昔は「猫の目」の様だと言 事を痛切にこいねがら。 夕べには変ること等を評し 現はすと共に朝きめたのが へば変化の目まぐるしさを

みな、がくれた努力がある が必要でそんな指導者のじ するには各人の勇気と熱心 にしても新しい計画を実行

両輪の関係にある、だから經済進展と自動車輸送とはいらから十二、五倍に当る ことには、戦争中耕地にす 地主が道路拡張の要請を心 るため道を狭めた耕作者や ある、それにしても嬉しい 言いたいのは道路の整備で よくらけて協力してくれる

等更に十坪の増築を行つた便であるの炊事場、娯楽室便であるの炊事場、娯楽室四月二十一日市に寄附され く勿論地元部落の協力によ対する深い理解に負ふ所多 の夕の集いが予定されてい 祝を兼ねて農業感謝祭慰安 つたことである、近く落成 之は望海炭坑の社会教育に 十五坪の建坪を建築し昨年 初め地元部落の熱意により

### 關口 公民 館 3

にはいかんともできない。異である。しかし事実の前

自動車は昭和二十一年に十

5、浦島さんの驚き

三十一年には百七十万台と 三万五千合だつたのに昭和

明日からといわず今日から

貫からキログラム (駐) へ升からリツトル 尺からメートル (米) へ (立)

昭和33年1月1日から取引、証明の計量にはメートル法以外の単位は使用出来ませんその時にまごつかぬよう今か ら準備しましよう。

昭

和

組合名

仲町一、

本町通

昭和通 b

北町共栄

町

睦

野

木 原

形

安良川八

安良川六

松合町一

安良川四

石滝三夜講

役名

側

名島三 北

北方発 電

栄

北 町

髙

肥

仲 0

南

高 砂

旭

主

浜

仲 町

小 桜 町

浜 野

駒

駒

高 農 協

商

横

上

石 滝

北 方

石 濇 西

島 名

島 名三

福

若

市

島

豐

英石川

滝 0 脇

農

町

b

郵

五

田丁

町

町

婦

町

栄

町

島

宿

南

M.

所

Ŀ

栄

栄

舟

Ŀ

家

組合名

ど和

HIT

町

河人人

城

城

浜

杉

畑

堀 0 内

事

殿

雉 子 尾

永

中 田丁

中 M 下

下 町

石 河原

石

行

西

石

赤 浜 中

赤

赤 浜

赤川 浜側

F 君田宿

1

1

11

11

書

中 戸

H

\*

鳥

大 能

横 111 下

横 JII 上

曾

田

中

行

HT

田

F 田

東

西西

城

畑

下

三宿

下

台

富宿

大荷田

L.君田前山

神合

内の草

井戸沢

宿上

久川

宿下

大畑

jij

代平

根

下

田の草

大川

組合長名

保

古

益

亭 衛

う勇竹な 藤賀藤友沢

政

興

春文 雄

重

勝

JU

高之進

直 栄長 特

富美穂

四郎次

柳太郎

義

兼 章

貞

叢

近之助

雄

夫

八次維

雄

夫

人雄つ

泰吉盛

淳一

香

夫道

IF

郎

惣

靜

彰

=

照

内

夫道

輝

明

薰

夫

小代代

邸 雷

结

山

井

本辺

林

八森上沢川

III

高合川

野

木金

井

苗木 幸

木木木木木崎

田

木 幸

JII

111

村

地

部

渡 辺 綱 寿

小永松小

根渡裔芳佐大金大川

黒今大落今小

鈴

細

石柴

鈴

鈴

鈴

鈴

鈴

鈴

泗

豊

豐 田

豐 田 德

沼 田 克

佐佐

沼 田 勝 美光

極來

菊大 地

沼 田

鈴 木 德 樹

鈴 木 兼 喜 交付金額

 $\frac{2,422}{3,013}$ 

3,488

1,928

1,772

1,019

2,505

1,694

3,083

2,927

1,751

3, 206

3,391

3, 265

1,672

2, 866 3, 683

3,884

4, 294

5, 107

5,341

2,310

4, 179

3,258

5, 282

783

861

805

2,838

2,962

2,094

2,658

1,096

2,523

1,096

1,922

2,000

2,203

3,554

3, 286

3, 277

2, 424 3, 020

2,749

3,367

4,455

197

944

424

409

776

## 32 年 度 半 期 分 納 稅 蓋 組 合 漿 勵 金交付 1

各六市合一昭 組口計の〇和 で画取〇三 にあ税扱組十 四つ合 h 年 # 12 す 〇件組度 0 七數合上 四は員半 數期 三 は分 0六一 納 • 税 円一七貯 件五蓄 自 九組 轉取人 合 車扱 0 荷金獎獎 車額勵勵 税は金金 市交が 九民付 7 八税額の 九はほ 一三 E 五八、 九 () 決 定 0 • 円点 交 四〇 付 六五さ 計円九れ 円ま 五. 古 で 1 三定 720 あ 九資 b ま組 産 税 す 合 七 數 九都組は

交 付 L \$ L た 蜓 勵 金 は 次 0) 通 6 で あ h # す

組合長名 交付金額 863 宮 田 操 5,963 黒 沢 勝 夫 吉 9,106 柴 田 知 4,351 柴 田 長 市 1,927 道 鈴 木 邪 Ш 三九郎 8,922 今 1, 206 信 吉 石 Ш 918 箕 Ш 勝 7 189 下 村 欽 庄太郎 3,730 加 藤 5,820 司 圃 舟 生 辰三郎 3,691 十津川 7,881 安太 郎 石 2,475 和田 菊 大 藏 876 住 谷 富 1,804 金 沢 敬太郎 4,614 矢 代 光 史 1,457 今 野 牐 111 避 鐵 耳 1,077 1,698 山 本 弘 治 1,462 木 福 督 高 6,470 沼 田 猫 3,663 沼 野 義 次 2,845 大 Щ 郎 5,647 佐 藤 浅 雄 5,257 矢 代 郎 早 3,033 JII 実 朝 寿 1,618 鈴 木 785 豐 田 政 行 1,357 沼 田 才 介 4, 103 大小 髙 博 義 富義誠 室崎 雄 994 則 7,536 松 衛田木 知公 以柴鈴和 太郎 4,050 2,633 9,302 武 6名田井上 保 2,367 雄 深 2, 124 椎 良 592 古 光 8,364 m 1, 250 保 沼 H 1,722 大鈴 俊之助 越 564 木 īF. 男 1.798 宮 下 幸 吉 2,910 渡 辺 亀太郎 2, 154 作 Щ 栄 3,081 神 神永下山田 良 道 4.947

800 宏

納稅組合だよ IJ

L 10 納 稅 綱 組 合 を 83 3 L T

11

下

手

Ŀ

町

1

納

税

組

合 11